

親友4人にいじめられて  
ゲームの世界に現実逃避し、  
人生詰んでいた僕が童貞を捨てたら  
人生逆転してしまった話

童貞卒業したら

人生すべて

上手くいく

誰も教えてくれない  
正しい  
童貞の捨て方  
とは？

童貞卒業コンサルタント **神楽**

# はじめに

英語の授業が始まる前のことだった。

親友「だった」彼は僕の机の前に立って、英語の教科書を手に取り乱暴にボールペンで「死ね」と書いて、違うページをビリビリに破った後、笑いながら教室を出て行った。

クラスメイトの何人かが僕と散った英語の教科書に注目する。どんな気持ちで見ているのだろうか？ そんなことを考える間もなくチャイムがなって授業が始まった。

教科書が破られていて、授業の内容がよくわからない。そんな時に限って、英語の教師は僕を指名してくる。

もじもじしていて、なかなか喋り出さない僕を見て「ん？ わからないのか？」と、軽いため息をついて言ってきた。

この程度の問題でイチイチ授業を止めるんじゃない。

と、言われているようだった。

(違う。答えがわからなんじゃない。教科書を破られていて読めないんだよ)

なんて言えるはずなく、

下を向いて黙り込んでいると、教師は見かねて、違う生徒を指名した。

これだけで終わるはずもなかった。

彼「ら」は、ある時は上履きのスリッパの片方を女子トイレに、もう片方を2階のベランダから投げ落として遊んでいた。

もちろん僕が履いているものだ。

暴言を吐きながら、4人がかりで暴力を振るうなんて日もしょっちゅうあった。机の中身やカバンの中身をぶち撒けられて飛散することもあった。

これらが組み合わさって片付けるのが遅れてしまい、理科室の授業に間に合わなかったこともあるが、当然ながら遅刻してきた僕を教師は叱った。

生きている意味がわからない……。

いっそこの命を投げ出してしまえたらどれだけ楽になることか。気がついたら、そんなことばかり考えていた。

何も、彼らが最初から僕をターゲットにしていたのかと言うとそうじゃなかった。

小学校のとき、僕は彼ら4人としょっちゅう遊んでいた。

サッカーをしたり、鬼ごっこをしたり、隠れんぼしたり、発育の良かった女子の胸を見ながら一緒に

「おお～！」と歓喜の声をあげたりもしていた。

体育の時間の縄跳びの時や、50メートル走の時に、まるで本体から飛び出してしまうかのように揺れている胸を見ながら一緒に興奮した。

楽しいことも、思春期さながらの会話も、彼らと一緒に夢中になってしていた。

中学校に上がれば、クラスはバラバラになるかもしれない。だけど、きっとまた同じように集まってバカができるものだと、1ミリも信じて疑わなかった。

だけど、現実は違った。

彼らはある日突然、僕に牙を向けてきたのだ。

俗にいう「いじめ」

そんな残酷なものは、テレビのニュースかドラマの世界でしか起こりえないと思っていた。

ニュースで自殺した子、ドラマでトイレの外側からバケツで水をかけられる女の子。

可哀想だと思いつつも、人ごとのように、自分とは関係ないフィクションのように思っていた。

だから、自分がいざ経験するとなると、受け入れる  
ことができなかった。

しかも、小学校のころに日が暮れるまで遊んでいた  
親友4人が「裏切り」という形で行ってきたのだから  
余計に。

(なんで、お前らが……)

(俺が何をしたって言うんだ!?)

こんな心の声は彼らに届くはずもなく、いじめは  
徐々にエスカレートしていった。

よくもまあ、そんな残酷な方法が思いつくなあと逆  
に感心してしまえるほどの仕打ちを数えきれないほ  
ど受けた。



コイツらの中には、むかし一緒に遊んでいたという記憶がスッパリと消滅していて、僕に恨みがあるように、誰かに洗脳とかプログラミングされているんじゃないか？と思えるレベルで酷かった。

英語の教科書に「死ね」と書かれてビリビリに破かれるのも、上履きのスリッパの片方を女子便に、もう片方を2階のベランダから投げ捨て、体にはアザがまみれになるほどの暴力を、机やカバンの中身はバラバラにぶち撒けられ、暴言の嵐を。

数えきれないほどのいじめのバリエーションを受けて、僕の体と心は少しずつゆっくりと蝕まれていった。

肉体は痛みで悲鳴をあげていて、精神は徐々に腐って死んでいった。

朝、某朝のニュース番組の合間に流れる CM で、とあるアーティストがサビを歌う場面がある。

誰もが知っている有名なアーティストのサビだ。

これが流れると僕の体は強い拒絶反応を起こす。

「学校には行くなっ！」と、本能が命令しているのか、強烈な腹痛を感じた後に、トイレに駆け込まないといけなくなる。

下痢という名のストレス反応を起こしてしまうのだ。

その一連の流れを見ていて、親はいつも不思議そうな顔をしていた。なぜなら、毎回同じタイミングで息子がトイレに駆け込むからである。

(助けて……)

なんて言葉が吐き出せたら、どれだけ気持ちが楽になっただろうか。

だけど、それを口に出してしまえば、中学生なりのプライドがズタズタに引き裂かれてしまう。

さて、ここであなたに質問がある。

学校はいじめられるためだけに通う状態、しかも、教科書すら破かれてまともに見れない状態で授業を受けると、

どうなるか想像が付くだろうか？

考える間もなく進めてしまっって恐縮だが、答えは簡単だ。

面白いくらいに馬鹿になっていく。

言い訳に聞こえるかもしれないが、

いじめを受けていた精神状態と、「死ね」と書かれ、ビリビリに破かれた教科書を見て、とても勉強する気にはなれなかった。

学校でも家でも、そんな教科書を開く気にすらなれなかった。嫌でもいじめを思い出してしまうからだ。そんなものは「その時」だけで十分だ。

だから僕はゲームの世界に現実逃避した。

僕の唯一の寄りどころと言えば、ゲームだった。

むかしからゲームは良くやっていたのだが、いじめられてからはゲームの世界に逃げ込んだ。そこに溶け込むしかなかった。

ゲームをしている時だけが唯一、心が安らぐ瞬間だった。

世界を魔王から取り戻すゲームにしろ、世界をゾンビから救うゲームにしろ、最終的にはハッピーエンドに向かって行く。

その過程が今の自分とは真逆だったから、のめり込んだ。

四六時中、明けても暮れてもゲームに没頭した。脳みそが腐り落ちてしまわんじゃないかと思うくらいゲームのことだけを考えて。

当然ながら、中学の受験という大事な時期でも、お構いなしにゲームばかりしていたから、成績はみるみる落ちていく。

ありえないような赤点を連発して、僕は公立高校で一番成績の悪い学校へ行くこと以外の選択肢を失った。

ちなみに、私立の学校は親が「お金がないからダメっ！」と言ったから。ただそれだけだ。

成績の良し悪しで言えば、僕が行った公立高校も私立高校もさほど変わらない。

つまり、人生は詰んでしまったということだ。

なぜなら、当時の価値観では、

良い高校に進学して、良い大学を出て、一流の企業に就職する、という決まり文句のようなフレーズがあったからだ。

高校の時点でその枠から外れてしまった僕に未来はない。

本気でそう思っていたし、親も兄弟も祖母も、言葉にこそしなかったが同じような反応だったから悟った。



高校に入学すると、面白いクラス編成になった。

クラス40人の内、30人が女子だったからだ。しかも、それが3年続くという状態。

(女の子にモテたい)  
(彼女を作りたい……)

この願望は全国男子の心の声だと思うが、僕も例外なくそう感じていた。

思春期の男子が30人もの女子、しかも顔が可愛い子がほとんどの場に囲まれてそう思わないワケがない。

だけど、僕は女子にまともに話しかけることすらできなかった。

いじめによるトラウマで、人とまともに目を合わせることでも会話することもできなくなっていたからだ。

男子に至っては、いじめられた時の恐怖が蘇ってしまい、すれ違うだけでビクビクし、逆に気味悪がられていたくらいだ。

とにかく関わり合いを持ちたくない。

けど友達もほしいし、女子とも話したい。そんな矛盾している状態が続いていた。

ただ、幸いなことにクラスの男子のうちの1人が気さくに接してくれて、しかも拒んでいた僕に対して諦めずに接してくれたおかげで、徐々に心を開けるようになっていった。

高校生活は彼のおかげで何とか普通くらいの状態に持ち直すことができたのである。

だが、それと女子と話せることや、彼女を作ることは別問題で、

男子とようやくまともに会話できるようになったという「当たり前」のことくらいで、彼女が作れるほど世の中甘くない。

勉強の方はすっかり諦めてしまっていたが、恋愛の勉強のことは諦めることができなかった。

「彼女が作りたい」

「女子の体に触りたい」

こんなモチベーションという名の「スケベ心」に駆り立てられた僕は、ひたすら女子にモテる方法をネットで漁っていた。

調べた方法を片っぱしから女子に試していくが、そのモチベーションとは裏腹に、ちっとも女子には相手にされずに、

代わりにその悔しさを、右手で握っていたナニから吐き出される白い液体が物語っていた。

コロコロと黄ばんだティッシュが、ゴミ箱のなかに敷き詰められていた。

気持ちの悪い見た目に、気持ちの悪いメール（当時はLINEじゃなかった）、気持ちの悪い会話、たぶん当時の僕にタイムスリップしたら、

真っ先にこういう感想が出てくるだろう。

しかし、当時の僕はそれくらい必死だった。

必死になって恋愛の勉強をして、実践してみるけど、彼女を作ることはできない。最初に僕に気さくに話しかけてくれた男子は当たり前のように彼女を作っているというのに。

彼と自分と、何がそんなに違うのかがサッパリ分からなかった。

そんな虚しい抵抗をあざ笑うかのように、

高校の3年間はあっという間に過ぎていき、僕は流れるように工場へ就職することが決まった。

工場に就職しても僕は恋愛を諦めることができなかつた。

働いて手にしたお金で恋愛教材を買い漁っては、会社の女性、しかも全員年上の女性に試しては嫌われるのを繰り返していた。

当然だろう。「女性はからかうと効果的」なんて情報を、正しい意味を理解をしないまま、歳上の女性に言えば失敗するに決まっている。

彼女たちからは、単純に「生意気な新入社員」としか映らないのだから。この新入社員とは関わらないでおこうと女性同士で噂になり、

蚊帳の外になるのは時間の問題だ。

中学校時代にいじめられたおかげで

感受性がかなり強くなっており、しかも人の目を気にするようになったため、嫌われていることを察することだけは得意だった。

それでも運良くプライベートで女性とデートする機会があったのだが、デートの中にスマホをいじられてしまったり、デート後に音信不通になったりと、

手応えを感じることはできずに悶々する日々が続く。

会社でもプライベートでも女性にまるで相手にされない。いじめで自分の存在理由を一度失ったが、女性に相手にされないことで、自分の存在理由をもう一度失った。



そんな陽の当たらない毎日が、社会人2年目の春まで続いた。

僕はいつもの習慣でメールボックスの恋愛情報をチェックしていると、ある情報が目に止まった。

たぶん、広告か何かで僕のメールに紛れ込んできた、一際目立つメールだった。

当時は恋愛情報を漁るのがクセになっていたので、そのメールも開封してみたが、かなりの文量だったのにも関わらず、

気が付くと読み終わるまで没頭していた。

僕は初めて恋愛の情報が書かれたメールを読んで、目から鱗が落ちる感覚を味わった。

今までのブログ、メルマガ、恋愛教材が、いわゆる「恋愛テクニック」のことしか語っていないとすれば、

このメールには「マインドセット」という聞き慣れない言葉について詳しく書かれてあったからだ。

マインドセットとは、心構えとか器とか、自分の内側を指す言葉になるが、これがしょっぱいとどうやら恋愛テクニックをいくら駆使しても上手く行かないらしい。

(これだっ……！)

僕は今までにないくらい、気持ちが高揚した。

なぜなら、

自分の弱点がその「マインドセット」  
だということが一撃でわかったから  
だ。

知識によって「恋愛テクニック」はかなり知ってい  
たし、実践もしていた。

しかし、今まで思うような結果が出なかったのは、  
この「マインドセット」が足りなかったからだと気付  
いた。

お前の弱点は” それ” なんだと一撃で理解することができた。

その方のメールを何日か購読したあとに、男の魅力を磨くというテーマの通信講座を運営されていたので、参加することにした。

ずっと続いていた暗闇の中のトンネルを抜け出せると思ったので、お金を支払うことに一切の迷いはなかった。

通信講座の中でも男として魅力的になるために、マインドセットの話から具体的なテクニックの話まで余すことなくされていて、その度に感動していた。

この頃は彼のメールを見つけて、通信講座に参加したという選択が、僕の人生を大きく激変することになることを知る由もなかった。

通信講座を受講して8ヶ月の期間が経った。

マインドセットをベースにひたすら男としての魅力やあり方を学んできたおかげで、その間に1人の彼女を作ることができた。

紛れもなく自分の実力でだ。

残念なことに2ヶ月で別れてしまい、友達関係に戻ったのだけれど、彼女を自力で作るという初めての成功体験だったため、付き合った期間とか正直どうでもよかった。

自分でも彼女が作れる。あのいじめられっ子で、勉強ができない自分が。

(ついでに言うと、親にも見放されていた自分が)

そんな自分が実力で彼女を作れたことは、

大きな自信になること以外の何物でもない。僕はもっと高みを目指せるし、目指して良いのだと確信した。

実際、1回でも実力で彼女が作れば、そのあとはトントン拍子で上手くいく。0→1と1→2の労力は決して同じではない（のも、通信講座で話されていたので希望になった）

通信講座を受講してから8ヶ月過ぎたころに、その方から神戸での懇親会のお誘いメールが届いていた。

通信講座で信頼していたので迷うことなく僕は参加を決めた。

理由はシンプルで、

この通信講座を運営している方に実際に会ってみたい。まるで恋い焦がれる乙女のように、この気持ちが日々膨らんでいたからだ。

当日になり、懇親会が行われる会場まで、神戸の専門学校に通っていた高校の時の友人に付いて行ってもらい、ビルの手前でお別れした。

手汗が止まらず、唇が乾ききっていて、挙動不審にもなり、緊張がピークに達していた。

本当にこのビルで合っているのだろうかとかと4回くらい確認して、周りをフラフラしたのを繰り返したほどだ。

意を決して中に入ると、

受付の会場では「おしょう」というニックネームを付けられた、頭がツルピカでダンディなおじさんが受け付けていた。

なぜ「おしょう」なのか？なぜツルピカなのか？

これらに突っ込みどころはあったが、緊張でその余裕すらなかった。

会場に入ると、僕と同じように緊張していて挙動不審になっている人や、どうやら常連っぽくてどっしりと構えている人の2パターンに分かれているようだった。



彼に会いたいと思う人がこんなにも居るなんて、すごいことだと感じた。こういうのは芸能人などのファンクラブだけだと思っていたから。

緊張していて人と話す余裕がないと思っていたら、忘年会は始まった。通信講座の彼が会場に入って来たのだ。

(うわあ、いよいよ始まる……！)

緊張感が漂うなか、入って来た瞬間に彼の存在感に圧倒された。

僕は彼に会うまで「オーラ」という概念をまったく信じていなかったのだが、オーラは本当にあるものなんだと身をもって体感した。

スピリチュアルみたいな怪しいことを言っているわけではなく、圧倒的な魅力によって、オーラは生み出されるのだと、このとき初めて知った。

本当に魅力的な方で、順番に参加者の方と話される中、僕のところにも来られて、通信講座を受講していることを伝えると

「頑張っただけだよ」と優しく包み込むようなトーンで言ってくれた。

一瞬しか話せなかったし、おそらく彼の記憶にも残っていなかっただろうけど、僕はすごい嬉しかった。

2次会も行われ、歳が近い人たち一緒のテーブルになった。

どこから彼を知ったのか？ 彼から何年学んでいるのか？ 自分は何を目指したいのか？ などを熱く語り合った。

中には高校2年生で懇親会に来ている子もいた。しかも通信講座の受講も僕より先に始めているみたいだった。

つまり、僕より若くして、彼に自己投資して進化成長をしようと試みていたことになる。

世界は広いし、上には上がいるものだと感じた。

あっという間に、濃厚な1日が終わった。

今までに味わったことのない充実感だった。

この夜、僕はホテルに戻ってベッドの上でぐったりと横たわり、胸の高揚を抑えることができなかった。

そして僕は、彼をひそかに「師匠」と呼ぶことに決めた。

通信講座を学んでいるときから「先生」だとは思っていたが、心の中で本格的に目指すべき師匠となった。

この人のようにになりたい、と。

懇親会で彼に魅了されてから、数年の間、

僕は自分を進化成長させるための自己投資を惜しまなかった。

師匠と同じレベルの経営者に10人単位でお会いしたり（師匠は億の資産を持つ、経営者）師匠に直接指導してもらう機会があったり、とにかく濃厚な時間を過ごしていた。

あれから数人の彼女と付き合ったし、体の関係を持った女性も何人かいる。

その上で今は自分と性格の相性がぴったりの彼女と幸せに過ごすことができている。

そして、師匠のライフスタイルに憧れて、本格的にビジネスに挑戦してから数年後、僕は高校卒業とともに就職していた工場勤務に辞表を叩きつけて、

パソコン1台で自由気ままに仕事することが可能になった。

下世話な話だが、収入も工場勤務時代よりも多い。

親友4人に裏切られ、学校の成績はガタ落ちして底辺高校へ入学し、そのタイミングで親に見捨てられ、工場勤務で一生を終えるはずだった僕がだ。

人生を逆転させようと思ったら、いつでも可能なんだと僕は自分自身で体感した。

彼女を作るためだけに、師匠の通信講座に参加したわけだが、まさかこんな人生を歩むなんて思いもしなかった。

彼女をすることで得られる可能性や、出会う人間によって人生が好転すること、こういうことを伝えたくて僕は信念を持って活動している。

# 目次

はじめに	2
第1章：恋愛さえできればすべてが上手くいく理由	41
第2章：男としての魅力を高める王道の恋愛	95
第3章：童貞卒業マインド	143



# 第1章：恋愛さえできればすべてが 上手くいく理由

どうも、神楽です。

いやあ、小説って難しいですね。

ブログやメルマガは何度も書いているんですが、小説って書いたことなくてかなり苦戦しました。

「あとがきかよっ」

って、感じの内容からスタートしてますが、

僕の生徒さんに「はじめに」の章を読んでもらった  
時の感想で

## 「暗すぎてテンションが下がる」

優しくオブラートに包まれて言われてしまったので、いつもの文章の感じに戻すことにします。

その方が読みやすいと思うし、何よりあの感じで書いていたらお互いに疲れると思うので、

~~小説のルールはガン無視で、~~

読みやすさ重視でいきたいと思います。

さてさて、「はじめに」の章で、僕の過去をぶっちゃけてきたんですが、いかがでしたか？

あの気分が沈んでしまうような話を最初にしたのは、理由があってですね、

恋愛はモテる奴とか顔が良い奴とかお金持ちな奴とか、

そういう男の「特権」だと思い込んでいる人がとても多いからなんですよ。

僕はその気持ち、めちゃくちゃよく分かるんですよ。

高校の時に僕を救ってくれたフレンドリー男子も顔がカッコ良かったし、姉妹がいて女慣れしているし、お金も持っていたから、

やっぱりそういう先天的な要素ってモテるために必要なのかなって思っていたんです。

だからこそ、だからこそね、

僕のデキソコナイエピソードは話した方が良いと思っ  
て、元のスペックがいくら低かろうが

正しい「知識」と「行動」さえあれば、

童貞卒業したり、恋愛強者になることはいくらでも可能ってことを伝えたかったんです。

(あとで、詳しくお話します)

しかも、僕が会社を辞めて独立起業したのは、完全に恋愛がキッカケでしたから、そのぐらい恋愛には可能性があることも伝えたかったんです。

なにも起業を強制しているわけじゃなく、彼女を作って童貞卒業することを起点に、いろいろなことにチャレンジしていける可能性を感じてほしいですね。

そういう理由で、墓場に持っていきたかった、いじめられた話をぶっちゃけることにしたんです。

ちなみに親に打ち明けるのすら、かなりの時間がかかって、めちゃくちゃ怖かったです（苦笑）

それなので、

営業でトップセールスマンだった男でも、元ナンバーワンホストでも、東大生でも、恋愛の苦勞を知らない男でもない、

本当に冴えない凡人以下の男が書いている、文章だと思って読んでみてください。

自慢じゃないですけど、

いまのところ僕の話を読んだ感想で

「俺の方が不幸だったんだけど？」

って、送ってくれた人はまだいません（笑）

（もしいたら、良ければ聞かせてください）

僕がデキソコナイだった分、彼らよりは再現性は高いと思っているし、読んでいる人の希望にもなれると思っているので、

凡人以下の人が這い上がるための小説（のような文体にするつもりはもう無いですが笑）にしていきたいですね。

OK ですか？

じゃあ、さっそく話を初めていきますよ！

小説って読み慣れない人だと、途中で疲れちゃうと思うので、なるべく工夫して書いていきますね。

最後まで読んでいただけたら、とっても嬉しいです。  
タメになることはお約束しますので。

もしタメにならなかつたら、感想で

「まじ、クソやろっー！」

って、送り付けて来ても良いので、とりあえず最後まで読んでみてください。

では、はじまりはじまり。



# 1. 恋愛を克服することがすべての人間関係を良好にする

と、言われてピンと来るでしょうか？

なんのこっちゃって感じですか？

OK です。

わかりやすく順を追ってお話ししていきます。

ここ、すごい大事な話だし、

恋愛の醍醐味だと思っているので、この話に可能性とか希望を感じてほしいんですね。

さて、世の中は「人間関係」で成立している。僕は、この言葉は真実だと思っていますが、

あなたは同意できますか？

たとえば、あなたがどこに住んでいたとしても、誰かに関わらないといけません。

家族は当たり前だとして、友達との付き合いがあったり、学校や仕事場などのコミュニティだったら、後輩、同僚、先輩と関わっていく必要があります。

もっと広く考えるなら、コンビニの店員さんも、駅員さんも、ジムのスタッフさんも、ショッピングモールの店員さんも、人間関係にあたると思います。

もし、あなたが無人島に住み込んでやるわいっ！

と、決意したとしても

人生で一番付き合いの長い「自分」との人間関係まで断ち切ることはできません。

すべての人間関係を断ち切ることができるのは「死ぬ」ときだけなんですね。

余談ですが、

自分との人間関係が一番長いことから、自分のことが「好き」である必要があると思っています。

自分が嫌いだと人生のクオリティそのものが悲惨になってしまいます。

そのための方法を今回の書籍で話しているとも言えるんですね。

話が逸れましたが、

つまり、僕たちって

死ぬまで「人間関係」を止めることができないんです。

お腹が空いたらご飯を食べるように、眠たくなったらベッドで眠るように、性欲が襲ってきたら処理したくなるように、

僕らは人間関係から目を逸らすことはできません。  
(もちろん、前向きな意味で、です)

こう考えた時に、「人間関係」を良好にすることは、人生の質を上げることとダイレクトに繋がってくる  
ことが分かるでしょうか？

人間関係を起点に、様々なスキルが磨かれるんです。

恋愛はもちろん、筋トレも、仕事やビジネスだって、  
すべて人間関係という名の営み、もしくは応用しているに過ぎません。

だから、

## 人間関係を制するものは人生を制する

と言っても、言い過ぎじゃないと思うし、

人間関係が上手い人はどこに行っても誰といても、  
「勝ち組」と呼ばれる結果を手にすることができるんですね。

つまり、僕たちは

「人間関係」という名の営みに対して、真剣に向き合っていく必要があるということです。

そう考えた時に、どこかのタイミングで「人間関係」のことをしっかりと学んで、自分の人生を良い方向に持っていく必要が出てきます。

人間関係から逃げてしまうと、人生はジリジリと苦しくなっていくきます。

恋愛という観点だけでも、結婚できなくて親から心配されるし、リア充な人を見て嫉妬してしまうでしょう。

働いていても何のためにお金を稼いでいるのか分からないし、自信もどんどん垂れ流しになっていって、

最終的には生きている意味を見出せなくなってしま  
います。

僕は工場勤務時代に、そういう末路を辿っているオ  
ッサンたちをたくさん見てきました。目が腐って死ん  
でいるんですね。



それですね、

さっき“どこかのタイミング”と言いましたが、

これは、早ければ早いほど良いのは言うまでもない  
ですよ。早いほど後から人生の攻略が楽になってき  
ますから。

それは、恋愛しかり、会社での人間関係しかり、家  
族や友人との人間関係しかりです。

そして「人間関係」を良好にする方法は、それぞれ  
数え切れないほどあります。

部活で徹底的にシゴかれるとか、会社でひたすら頑張るまくるとか、コミュニケーションの本を読んで勉強するとか、

パッと思いつく限りでもこれだけあります。

その数ある選択肢の中でも、

僕がお勧めしているのが「恋愛」なんですよね。

恋愛って人生の教科書って言っても大げさじゃない  
んですよね。マジですべてを学べます。

恋愛の定義が広いので、童貞卒業することでも、彼  
女を作ることでも、自由に決めてもらって良いのです  
が、

それらが行き着く最終ゴールって「セックス」じゃ  
ないですか？

どんな形の恋愛にしろ、セックスのタイミングは必  
然的に訪れていきます。

セックスできずに別れてしまった彼女が僕には居た  
ことがあるんですが、たどり着けるのであれば、セッ  
クスがしたかったし、するべきでした。

恋愛のゴールである「セックス」をクリアすることは、他のどの人間関係を築くよりも最深部にあたる行為です。

なんせ男女が裸になって激しくコミュニケーションするわけですから、

学校や会社の先輩後輩との

「よっ！」「おっす！」「お疲れ！」

なんていうコミュニケーションの深さや重みとは、比らべものにならないわけです。

これは、セックスまでのルートを逆算して考えてみてもわかるんですが、

セックスをする→彼女を作る→女性と信頼関係を築く→女性と仲良くなる→女性と知り合う→出会いを生み出す

もっと細分化できそうですが、簡単にまとめるとこんな感じですよ。

学校や会社の人たちと仲良くなるのって、さっきの図でいうところの、せいぜい「女性と仲良くなる」とか、

もう少し深いところまでいくと「女性と信頼関係を築く」くらいの立ち位置になると思います。

「セックスをする」という深いところまでコミュニケーションを取れるのは恋愛だけだし、

ここまで深いコミュニケーションが取るのには様々な意味での「信頼」が必要不可欠なので、

「セックスをする」さえクリアできれば大は小を兼ねるということになります。

つまり、他の人間関係もまとめて上手くいくことに繋がってきます。

なんでかって言うと、

女性とのセックスを手に入れるには、コミュニケーション能力、リーダーシップ能力、女性心理の理解、空気を読む力、決断力、などが必要になってくるからです。

これらの能力（スキル）は完全にほかの人間関係や学業・仕事など活かせる関係で、人生がめっちゃめっちゃ楽になってくるんです。

下手な資格を取るよりも社会で役立つ人間になれるレベルです。

僕の生徒さんのなかで、40日で彼女を作って、その2週間後に童貞卒業された方が居られますが、

その方も彼女を作ってから成長が目覚ましいものでした。

彼女以外の女の子に好意を持たれることが増えたらしいし、大学のゼミでは雰囲気が変わったと男女から褒めてもらったり、バイト先では気が回るようになったと言っていました。

僕と出会う前は彼女はおろか、女性とまともに会話していなかったのにも関わらず、

たったの数ヶ月でそこまで別人に進化するほど成長するわけです。



また他の生徒さんは、僕のライフスタイルに憧れてくれて、ビジネスにチャレンジすることに決めたそうです。

彼女を作らなかったら、その発想には至らなかったと彼は言っていました。

ほかにもシンプルに彼女を作って童貞卒業してから、最高の彼女に巡り会うための修行を始めた生徒さんもいます。

いろいろな女性と出会って、彼女も作って、どうすれば最高の彼女が作れるか頑張っているみたいです。

彼らは僕と出会う前は童貞でした。

彼女を作って童貞卒業してから、こんなにもチャレンジ精神旺盛になって、人は進化成長していくんだなあと彼らの背中を見て思ったんですね。

つまり、童貞を卒業するとか、彼女を作るとか、もっとモテるようになりたいとか、

その願望が秘めている可能性って

多くの方が思っているよりも遥かに大きなものになります。

恋愛は想像以上の可能性を秘めているだけに、

「おれなんかが……」

と諦めている人を見ると、とても悲しい気持ちになります。

男性全員が克服すれば、日本はガチで変わるんじゃないかって思うレベルで凄いことなんです。

僕は日本レベルでどうこうする気はありませんが、せめて僕の情報に触れてくれる人にはそういう結果を得てほしいなって思っています。

それくらい、恋愛を克服することは男として価値のある営みだってことなんです。

## 2. 女性が与えてくれる無限の力

あなたは自信を付けることに興味はありますか？

童貞卒業したい、彼女を作りたい、っていう人の中に自信を付けたいって思っている人は意外と多いです。

女性を克服することや、彼女を作ること、セックスをすることによって、自信を付けたいという意味だと思います。

この自信を付けたい、という言葉をよく耳にするんですが、そもそも自信ってなんなのかを簡単に説明すると、

行動する時に必要な「エネルギー源」というのがしっくりきます。

自信がないと、行動する時のエネルギーが足りなくて前に進むことができません。たとえば、怖くなったり不安になったりして1歩進めることができないんですね。

逆に自信があれば、行動する時のエネルギー源になるので、果敢にチャレンジすることができます。「まあ、俺なら大丈夫だろう」という状態です。

だから、自信というのは、行動するための心のエネルギー（ガソリン）のようなものだと思ってもらえたらわかりやすいと思います。

目標達成できる人とそうじゃない人との差は、このエネルギーが常に供給されているかどうかと言っても過言じゃありません。

マインドセット（心構え）とか一時的な気合いなどでも、エネルギーは注入されますが、それは長くは続かず、やはり大切なのは成功体験という材料から作られたエネルギーになります。

そして、僕ら男に一番エネルギーという名の「自信」を供給してくれるのは女性という存在です。なんとなくわかりますかね？

「いや、そんなことはないはずだ！」

と、思われるかもしれないので、ちゃんと説明していきますね。

では、ちょっと質問をしますね。

あなたが今やり遂げたいと思っている目標は、なぜやり遂げたいんですか？ という質問です。

自分にもっと自信がほしい、筋トレにチャレンジしたい、資格を取って良い企業に勤めたい、ビジネスでお金を稼げるようになりたい。

挙げれば挙げるほどキリがないと思いますが、

なんでこれらの目標が達成したいのかを考えると答えは導き出せます。

僕の話をする、

僕はビジネスでお金を稼げるようになりたいという目標がありましたが、それを掘り下げると、お金をもっと稼いで周りにチヤホヤされたいから、

そして、チヤホヤされてさらに女性にモテたいからという理由に行き着きました。

肉体改造もやっていますが、カッコ良い体になって自分にもっと自信を持ちたいから、

そして、その体を利用して、さらに女性にモテたいからという理由に行き着きました。



多くの人の立てている「目標」を深くまで掘り下げると、

実は、「おなご」に行き着く可能性が高いんです。

もしくは、人に認められたいとかですね。

自分が達成した目標という名の武器を使って、女性を自分のものにしたいんですね。

これは女性を武器で惹きつけて最終的にセックスしたいと思っている遺伝子による働きなので、

逆らうことができません。

つまり、男が目標に対して行動する時の、根本的なモチベーションって「女性にモテたい」とか「女性に選ばれたい」とかに繋がっているケースが非常に多いということです。

お金を稼ぎたいも、バキバキの体になりたいも、もちろん女性にモテたいも、

すべては「おなご」にアピールするためだと言えます。

ちなみに、

この欲求が男子から消滅すると、世界は衰退して崩壊すると言われていきます。

そう考えると、女性が僕らにくれるモチベーションや自信って相当なエネルギーを秘めていることがわかります。

もっと正確に言うと、

女性そのものじゃなくて「セックス」がくれるモチベーションや自信になりますが、それを含めて女性を克服するという言い方にします。

いろいろと言いましたが、

とにかく童貞卒業する、彼女を作る、という目標は  
「女性にモテる」とか「女性に選ばれる」ことに繋がるため、

男としての自信を大きく得られるというわけです。

実際に僕はいくつになっても自分の魅力で女性を魅了する方法を教えています、

そうすると歳を取ってもちゃんとモテることができるんですよ。

というより歳を取れば取るほどモテるようになっていって、女性から求められ続ける男になれるわけです。

彼女にするのも自由、  
セフレにするのも自由、  
結婚するのも自由。

そうして女性から求められるという事実を得ることができた男は、圧倒的な自信を手にすることができるんですね。

この状態で人生を生きるのとそうでないのとでは、  
そりゃあ大きな差ができます。

天と地の差だと言っても良いでしょう。

だって、自信は行動する時のエネルギー源のような  
ものだから、単純に自信がある人の方が行動回数が増  
えます。それだけチャンスが広がるということになる  
んですね。

難しい話を抜きに考えても、

女性にモテる男になれば自信が湧いてくるのはイ  
メージできますよね？

そして、その自信は人生を大きく変えてくれるポテ  
ンシャルを秘めているんです。

### 3. モテまくる必要はどこにもない

あなたの中のモテるという定義はどんな感じですか？

とにかく女性に囲まれて求められるって感じでしょうか？

僕の定義は、狙った女性を口説くことができるというものなので、たくさんの女性に「わーきゃー」言われる必要はどこにも無いと思っています。

最低でも彼女がいつでも作れるくらいの実力があれば、モテモテになる必要はどこにもありません。

いや、モテまくってハーレム作って、今までの童貞コンプレックスや恋愛コンプレックスを解消しまくるっていう目標があるなら、それはそれで素晴らしいんですが、

ひとまず僕の中のモテるの定義はこうだよって感じ  
です。

そう。モテまくる必要はないんですよ。

女遊びというやつを僕もしたことがあるんですが、

途中で意味を見出せなくなっただけで虚しくなるという経験をしているので、僕はあまり好きじゃないんですね。

それよりも、



しっかりと1人の彼女と向き合っ  
て、深い信頼とパートナーシップを  
築いていく方が僕は好きです。

今付き合っている彼女は、僕のライフスタイルに憧  
れてビジネスを頑張って勉強していて、会社を退職し  
て本気で取り組むようになりました。

それに僕がどんどん成長していくので、彼女も影響  
されてどんどん可愛くなっていますし、

これは女性本能の観点からみても、優秀な遺伝子  
を持った子どもを産みたいというのが備わっているか  
ら、可愛くなっていくんですね。

(付き合っている女性がオシャレしなくなったら、  
そういう意味で終わりです)

将来的には2人ともパソコンが1台あれば、どこでも仕事ができる環境が整うので、県外や海外で遊びつつ収入を得ることも視野に入れていきます。

こういう関係ってめちゃめちゃワクワクするんですね。

セックスの方も、めちゃくちゃ相性が良いので、お互いに満足度が高いです。

だけど、これが付き合う彼女をコロコロ変えていたら、こうはならないんです。

考え方や価値観のすり合わせもしないといけないし、セックスの相性も最初から合うわけじゃない。

また1から関係を築いていく必要が出てくるわけだから、すごく労力がかかるんです。

ただまあ、どっちが良いのかは人によるので、ハーレムを築くのか、1人の女性を大切にするのかは、あなたの心の声にしたがってください。

お勧めはどっちも食わず嫌いせずに、両方経験してみることですけどね。

とは言ってもですね、

僕がお伝えする男としての魅力を高めて王道にアプローチする方法を身につけることができれば、

結局は多くの女性を惹きつけることにも繋がるので、モテモテも再現できるわけですが、やっぱり僕はそれにはあまり意味がないかなーって思います。

話が逸れつつあるんですが、

あなたに伝えたいのは、童貞を卒業するとか、彼女を作ることとか、ハードルが高く聞こえるかもしれませんが、

やることをやっていけば、ちゃんと達成できる目標なんだよってことが言いたかったんです。

彼女を作るまでは、そういう目標って、なんというキャリア充の特権のように思えて仕方がないんですが  
(むかしの僕はそうでした)

やるべきことを当たり前に行ってだけで、淡々と彼女を作ることができます。ホントに自分の魅力を上げていただけなんですね。

せっかくこの書籍を読んでいるあなたには、

最低でもこのラインまで行ってほしいなって思いで、  
僕の情報を届けています。

さっきの「女性がくれる無限のパワー」でも話した  
ように、女性は僕ら男に自信という大きなギフトをく  
れます。

これがいつでも彼女ができるとなると、その安心感  
や自信は口では表せないレベルになります。

それはもう相当に。

そして、他の人間関係も思うままに操る（言い方は  
悪いですが苦笑）こともできるので、

あなたの望むような人間関係を構築できます。

僕の話で言えば、

高校時代の友人とたまに集まって飲みに行くと、むかしは脇役だったのに、今ではメンバーの中心人物になっています。

高校の時に目立っていたリーダータイプの友人ですら、僕の意見をしっかりと聞きし立ててもらえます。

別にジャイアニズムを振りかざしているわけではありませんが、立場がまるで変わっているんですね。

会社員時代では、良いなって思う上司に好かれて、  
とことんエコヒイキしてもらっていました。

なので人間関係がめちゃくちゃ楽しかったし、

当時起業するために残業とかすっぽかして帰るよう  
なことをしていても何だかんだ許されていました。

そして、序盤で登場した通信講座の師匠ですが、

今では電話1つで相談に乗ってもらえる関係になれたし、

彼の企画・運営をサポートしていて講師として手伝うまでの関係になれています。

彼女を師匠の地元に連れて行って、遊びに行ったこともあります。3人でオカマバーに行ったりしたんですね。

こんな濃密な関わりができるとは、当時の僕は思ってもいませんでした。



もっと身近な存在で言えば、

僕を見捨てた親も今では「お前は本当にすごい」と  
言ってくれるし、

今付き合っている彼女も僕のことを本当に好きで居  
てくれるし尊敬もしています。

そこまで来れば、ホントに人生の幅って無限大にな  
るので、ぜひ歯を食いしばって付いてきてほしいです  
ね。

といっても、そんな武者修行でも無ければ、1年2  
年かかるようなことでもないんですけどね。

960ヶ月（80年）くらいある人生の内の、たった3ヶ月とか頑張るだけで、すこぶる明るい未来が手に入るの、ポジティブに考えることが大切です。

実際には、ちゃんとした「知識」を学んでガンガン行動すれば、1ヶ月前後で彼女が作れることは、僕の生徒さんが証明してくれているし、

ほかのところで、2年くらいフラフラと恋愛のことを学んでいた人が、

正しい知識を学んだ瞬間に1週間で彼女を作れたって報告もいただいています。

後でも話すんですが、

あなたが女性に縁が無かったのは、単純に「恋愛」を学ぶ機会がなかっただけなんです。

国英数社理とか、自動車の免許とか、そういうのは日本人をやっていると大体習いますが（と言っても僕は勉強の方はからっきしですが苦笑）

「恋愛」という科目だけは、国が教えてくれません。

なぜなら、

日本のルールを決めた人たちが、モテ方を知らないから、教えようがないんです。

少子高齢化問題を解決したいなら、恋愛の授業をすれば良いのにとかって、たまーに思ったりしますが、

モテない人たちが決めた日本のルールなので仕方ありません。

とにかく、ちゃんと学ぶ機会が無かったものが苦手になるのは、仕方がないことなんです。

それをちゃんと教えてくれる人も、身近にはなかなか居ないし、

居たとしても多くの人になぜ女性にモテるのか？

を、体系立てて説明できる人がいません。

恋愛をちゃんと学ぶ機会って運が良くないと難しいので、苦手になっていくのは無理もないんですね。

だから、これからはしっかりと学んでいって変わっていけば、まったくのノープロブレムだということです。

- ・モテまくる必要はどこにもない
- ・恋愛の勉強をこれからしていけば問題ない

この2つが言いたいことでした。

しっかりと1人の彼女と向き合うのも、複数の彼女を作るのも、あなたの自由ですが、それらはちゃんとした「知識」によって、実現することが可能になります。

それに彼女を作って童貞卒業した後の人生は、陳腐な言い方になりますが、バラ色になるので、やる価値のある営みですよってことです。

今はあまり信じられないかもしれませんが、徐々に明かしていきますので、この辺で気合いを入れ直して読んでくださいね！

## 第2章：男としての魅力を高める王道の恋愛

はい、ここからはですね、

僕の専門分野であり、得意分野である、男としての魅力を高める王道の恋愛がなぜ良いのか？ についてお話ししていきます。

童貞卒業する方法とか、彼女を作る方法って、結構考えればたくさんあると思っています、

男としての魅力を高めて正攻法で、女性にアプローチするのは手段の1つでしかありません。

ダイエットでいうと、まあ、あんまり思いつかないですが、いろいろとあるじゃないですか。

炭水化物を抜くケトジェニックダイエットとか、筋トレをしてダイエットするとか、食事制限をするとか、食べ物を限定するダイエットとか、

そんな感じで「セックス」をゴールとした時に手段はたくさんあるわけです。

それらのメリットデメリットを、この章では見ていこうかなと思います。



# 「セックス」までの手段

手段を見ていきますが、メリットデメリットも一緒に挙げていこうと思います。

メリットデメリットを整理することで、自分に合った方法を知ることが大切なんですね。

# 1. 風俗やソープで「セックス」を手に入れる

童貞卒業したいと思っている方が真っ先に思い浮かべるのが、風俗やソープで童貞を捨てることだと思います。

大手質問サイトでも、風俗やソープで童貞卒業するべきなのか？ という質問が多くされているのを見かけます。

## ・風俗やソープで「セックス」を手に入れるメリット

この方法のメリットは何と言っても「早い」ことです。

お金さえあれば、その日のうちにでも童貞を卒業しようと思えばすることができます。

お金の力を使うってことですね。

だから、年齢＝童貞コンプレックスの方で、とりあえずセックスを体験しておきたいという場合に重宝します。

そのセックスによって「恋愛活動を頑張ってやるぞ！」と活力を上げることができれば、目的を無事に果たしたことになると思いますよね。

とある懇親会のときに数十人でお酒を飲んでいただけがありました。

僕を中心に数人の方と恋愛の話やアドバイスをしているときに、

控えめな声で、童貞の生徒さんが

「28歳で童貞なんですけど、まずどうしたら良いですか？」

と、僕に相談されてきました。

そのときに、僕は迷うことなく

「高級ソープに行きましょう！」

とアドバイスをしました。

これは別に酒の場で酔っているから、ふざけて言っているわけじゃなくて、

一度最高レベルのもてなしとも言える高級ソープ嬢のセックスを味わうことによって、童貞コンプレックスを少しでも解消して恋愛の活力に繋げてほしかったからです。

年齢が上がれば上がるほど、ほかの人が思っているよりも、本人は童貞コンプレックスを気にしています。

28歳ともなれば、周りも結婚しているはずですからね。

だから、まずはゴールのセックスを体験してほしかったんです。それによってコンプレックスを薄めてもらって、行動力をあげてほしかった。

そのアドバイスをして、懇親会が終わった後に、高級ソープに行かれたらしいのですが、その行動力には驚きました。

後日、彼から感想のメールが届きました。

高級ソープ嬢のセックスは最高に気持ち良かったと冒頭の部分で書いてありました。

その後に、セックスに対する考え方がニュートラル（冷静）になったこと、女性との会話が以前より楽になったこと、恋愛活動をもっと頑張ろうと思ったことなどが書いてあったんですね。

これが風俗やソープでセックスすることの1番のメリットになります。

つまり、自分の今後のために先取りして経験しておくってことですね。そうすることによって、性に対する視点がニュートラルになるわけです。

セックスをする前って、「セックス」という行為は神秘的すぎるというか、

**現実味がなさすぎて全く自分毎のように思えないんですよ。**

これって僕がモテなかった時期が長かったからよくわかります。彼女を作るとか、セックスをするとか、まるでイメージが湧かないんです。

モテる人間からすれば、

「そんなもん彼女作れば良いじゃん」

「自信持っていけば大丈夫っしょ！」

みたいな言い方をするんだけど、そんな単純じゃないんです。

だからこそ、ゴールを最初に体験することによって、「なるほど、こういうものなのか」と感じてほしかったんですね。

ある意味で荒療治かもしれませんが、年齢＝童貞コンプレックスの方にはお勧めです。

もしこの手段を実行するなら、下手にお金をケチらずに「高級ソープ」に行って極上を体験することがポイントになってきます。



ボーイの教育もちゃんとされているから電話やフロントで不快になることがないし、

嬢も、もちろん教育されているので、不快にさせられることがないし、最大限恋人のような時間を楽しむことができます。

そこから恋愛活動の活力に繋げることができるなら、行ってみるのもありでしょう。

## ・風俗やソープで「セックス」を手に入れるデメリット

一方、風俗やソープで「セックス」を手に入れるデメリットは結構あります。

1つがやはりお金の問題でしょう。もう1つ繋がってくるのが「依存」です。

この2つが組み合わされば、たとえば月に2回風俗に行ってしまう場合、風俗（2万）×2回（月）×12回（年）

**= 48万円もコストがかかります。**

これは非常にお金の無駄遣いになります。月に1回だとしても24万円ですから、このお金でやれることはたくさんあります。

たとえば、一生素人童貞で良いと諦めている人がいたとして、30歳から60歳までの30年間を月2回風俗通いした場合は、

48万×30年＝

**1440万円**

のお金を捨てることになります。

勿体無さ過ぎますね。

1440万円あれば、大抵のことはできるんじゃないでしょうか。

それこそマイホームの半額以上のお金をまかなうことができそうですし。

そういう意味で考えると、恋愛を克服するということは、お金を節約することにも繋がって来るわけです。

そりゃあ付き合っていれば、デート代や記念日、誕生日のお金はかかるとは思いますが、でもストレスだし、彼女が喜んでくれるので、有意義なお金の使い方だと言えます。

さらに、デメリットを挙げるとするなら、

男として負けた気がするんじゃないでしょうか？

言い換えると自信が喪失していくこととも言えます。

風俗やソープでは、お金さえ払ってしまえば簡単にセックスが手に入る方法なのに、多くの男が躊躇してしまう理由の大きな要因だと思います。

僕の友人に年齢＝童貞の人がいますけど、やっぱり風俗やソープには頑なに行こうとしませんから、彼なりのプライドがあるのでしょう。

風俗に行ったら負け、みたいなものが。

同年代の男は彼女が普通に居るし、結婚して子どもが居る奴もいる。

要するに自分からすれば、彼らは「リア充」なわけだけど、自分だけ店の女性としかできないなんてプライドが許さない。みたいな。

こういうのも、日々生活していて精神的にマイナスなわけだから、立派なデメリットになりますよね。

自信は行動する時のエネルギー源だと第1章で言いましたが、その自信が垂れ流しになることに繋がるので、

人生レベルで見たら非常にマズいわけです。

だから、僕がお勧めするのは、メリットの方でも言ったんですけど、高級ソープに1回行って恋愛の活力に変えてもらうことだと思っています。

正直言って、それ以外の利用の仕方はお金を無駄遣いすることに繋がるので、

ちゃんと目的を持って利用する方が良いですね。

ちなみに童貞コンプレックスが耐えられなくて今すぐに童貞を捨てたい。と思っていない人、

つまりじっくり力を付けていくことに全然耐えられるって人はこの方法を無理に選択する必要はありません。

そのお金で見た目を改善したり、知識に投資したりしましょう。それができるなら一番です。

とにかく風俗やソープを利用するなら、恋愛活動の活力に変えるために、1回だけ高級ソープでセックスを体験してくる、という使い方が1番良いと思います。

惰性でダラダラ行くのはいろいろな意味でデメリットになるんですね。

## 2. オフパコでセックスする

Twitter などで見かけるオフパコという言葉ですが、オフラインでパコる、つまりオンライン（ネット上）で出会って、オフライン（リアルの場合）でセックスをするということですね。

僕は最近、Twitter を始めたのですが、やる前は「オフパコ」なんて言葉を知りませんでした。

メリットとしては、本当に会うことができれば、風俗やソープよりも安く、さらに顔が可愛い女性とセックスできる可能性があることです。

このメリットは大きいですよ。



高級じゃない風俗やソープに行けば、言い方は良くありませんが、ハズレを引く確率は小さくないわけですし、それにお金も節約できるのも大きいです。

なので、一見、風俗やソープの上位互換に当たるような感じがします。

ですが、それ以上にデメリットの方が大き過ぎて、

**ハッキリ言って、選択肢としては論外です。**

まず、オフパコで出会えるのは、ほんのひと握りの可能性だということです。

100人のライバルが居て、1人とかそのくらいの確率になります。効率が恐ろしく悪いので、

**時間が無駄になってしまいます。**

そもそも再現性が低すぎるということなんですね。

宝くじが当たったら良いなって思っているのと一緒です。

さらに、運が良いことに出会えたとしてもトラブルに発展する可能性が高いというデメリットも付きまといます。

女性から性病をもらったり、美人局（つつもたせ）  
と言って、ホテルに入った瞬間、彼氏と名乗る怖い人  
がお金を巻き上げようとする事件もあります。

女性の可愛さ（美しさ）や性の力を利用すれば、い  
くらでも男が集まってくるので、巧みにやりとりを交  
わした後に、男が登場する可能性は十分にあります。

Twitter のエロいサムネイル画像と  
プロフィールに期待して、オフパコ  
目的の女性に会いに行ったら、男が  
出てきてお金を取られた、

なんて親や警察に言えるはずがないですから、格好  
の餌食になります。

無法地帯すぎて危ないし、女性そのものがオフパコを望んでいる時点で健全ではありません。

女性は優秀な男を選びたいという本能があるため、基本的にその本能と違う行動をする女性は

言い方は悪いかもしれませんが、

## 「精神的に問題がある異常者」

と思って間違いないです。

具体的には承認欲求、つまり認められたいという欲求が満たされてなさ過ぎて、そう行った行動に走るんです。

リストカット率も地味に高いです。

相手の女性の「闇」が強過ぎて、いきなり何をされるか分かったものじゃありません。

リスクがこの時点で高いです。

ですし、現実的にもっと高い確率としては、オフパコをしたいですと名乗っているアカウントが業者によって作られていて、

出会い系サイトやLINE@に登録させ、サイト先でお金を大量に巻き上げられるパターンです。

むしろこっちの方が大半だと思います。

手口としては、胸の大きい画像やオフパコしたいなどのプロフィールで恋愛弱者を釣る。

釣れた恋愛弱者を LINE@や出会い系サイトに誘導する。そこでお金を巧みに騙し取る。

という手段になります。

冷静に考えたら引っかかるわけがないんですが、

性が絡むと、男はまともな判断ができなくなるので、引っかかる人が多数なんです。

僕の知り合いで、こういうのに引っかかって月に10万円くらい、消し飛んだ人がいますが、そういうことは実際に起こりうるってことです。

そもそも会えないし、何かの間違いで会えたとしてもトラブルに遭う可能性が高い。し、大半は業者アカウントだってことです。

さっきも言いましたが、

セックスの手段としては確実性も安全性もないため、一番最悪な方法だと言えます。

だけど、その確実性や安全性がないオフパコを求めて、Twitter の裏アカウントを作る男子が、めちゃくちゃ多いことに最近気が付いたので、

健全じゃないなあと思っているところです（苦笑）

彼らのプロフィールを見ていると、童貞卒業させてください、Mです、なんでもします、ち●こを見せませ、とか書いている人がいますが、

ハッキリ言って精神病院に行くレベルです。

冷静になって女の子の立場になったらわかりますが、そんな男と付き合いたいとか、セックスしたいと思うわけがありません。

魅力的な男に女性は惚れるわけですから、

その原理原則を無視した言動をする男に、女性が体を許すわけがないんですね。



### 3. ナンパをしてセックスを手に入れる

メリットは想像通りかもしれませんが、

ナンパは場所を選ばないので、たとえば顔がタイプの子が街を歩いていたとしたら、その子に速攻でアプローチをかけられることです。

それは街に限った話じゃなく、

本屋だろうがショッピングモールだろうが店員さんだろうが、例外ではありません。

一言でいうと、すべてのフィールドが出会いに変わるといことです。

なので、「スキル」さえ伴っていれば、そして、性格的にナンパが得意なのであれば、これほど最高の出会いの場はないでしょう。

あと、ナンパススキルと同時に営業のスキルも上がるので、飛び込み営業をしている場合などは訓練になると思います。

しかし、それは同時にデメリットにもなり得ます。

スキルがないとナンパは高確率で失敗するし、スキルのあるプロナンパ師でも10人単位でシカトされることはザラにあります。

し、そもそも恋愛が苦手な人にとって、障壁が高い選択です。難易度が高いんですね。

だから恋愛が苦手な人がチャレンジすると、高確率でお地蔵さんといって、街でただ立ち尽くしてしまっただけになってしまいます。

それにこれは僕個人的な意見なのですが、

ナンパ師は女性を「モノ」とか「おもちゃ」のよう  
にしか思っていない、

言い方はちょっと悪いですが、

**クズみたいな男が多いのが嫌です。**

即〇人とか、〇人切り達成したとか、鼻高らかに自  
慢しているブログや Twitter を見かけますが、

この男たちは裏で女性を泣かせていることに気付い  
ていません。

テクニックでゴリ押しして、女性の自制心を酒などで奪ってホテルに連れ込み、半ば無理やりセックスして、

それでいて〇人切りだとか言っているわけです。

ある意味で女性に魔法をかけて無理やりセックスして、魔法が解けた後に

**女性を悲しみのどん底に突き落と  
しているということです。**

某有名ナンパ塾の主催者とその生徒が、

女性を自宅に連れ込んで、ベロベロに酔わせたあと  
にレイプして捕まった話とかありますが、

根本的なところで、女性とモノとしてしか見てない、  
男として人間として「クズ」だからこういうことが起  
こります。

これだけは自慢なのですが、

僕は女性を酔わせることを前提に女性を口説いたことはありません。

お酒の力とやらを借りたことがないんですね。

そりゃあ、酔わせた方が判断力が鈍るから口説きやすいただろうけど、それは男としてズルいと思います。

お互いに話が盛り上がったうえで居酒屋に行くならわかるんですが、酔わせることを前提に口説くのは違うだろうと思うわけです。

これは僕のポリシーなのですが、

女性に対してリスペクト（尊敬）できないアプローチの仕方は、死ぬほど嫌いなんです。

なかには女性をリスペクトしながらナンパする人も  
いるので、そういう人は全然問題ないのですが、

大半が「クズ」みたいな奴ばかりということです。

とまあ、そんな個人的な意見は置いておくとしても、

恋愛初心者には難易度が高いからお勧めできません。



さっきも言いましたが、

やったとしても声すら掛けられずに立ち尽くして終わってしまいます。

## 4. 恋愛テクニックゴリ押しでセックスを手に入れる

これはどういうことかと言うと、

恋愛テクニックをひたすら女性に駆使して、半ばゴリ押しのような状態でセックスを手に入れるということです。

ある種クズ氏が行うナンパに近い感じですが。

メリットは勢いさえあれば、そこそこの確率でセックスが手に入るということです。

先人たちが生み出してきた恋愛テクニックを駆使すればそういうことが起こる可能性はゼロじゃありません。

デメリットとしては、確実性がなさすぎるということです。

要はテクニックは所詮、テクニックだということです。

あなたのキャラや、相手の女性のキャラ、状況やシチュエーションによって、臨機応変に対応できないテクニックに頼ると、

どこかで頭打ちになるということです。

たとえば、僕が社会人1年目のときに

「女性をからかうのが有効」というテクニックを目にして、

会社の歳上の女性をからかい続けたことがあります  
が、見事にすべての女性から嫌われることに成功しま  
した。

テクニックなんてそんなもんだってことです。

そのテクニックを使うことの「本質的」な意味を理  
解していなければ、こういう事故が高い確率で起こり  
ます。

なぜ？ の部分がきちんと説明できないテクニック  
を使っても後には続かないんですね。

スポーツとかでも全く一緒に、

いくら素晴らしいテクニックを身につけたとしても、基礎体力やフォームがしっかりとできていないと試合使うことも、相手に使わせてもらう隙も生むことができないんです。

それにテクニックに偏った30代とか40代の男とか見ていると痛いですからね。

女性が恋愛経験豊富になるにつれて、そんな小手先のテクニックは通用しなくなるんです。

それに付き合えたとしても、1週間とか1ヶ月単位で別れてしまう男が続出します。

なぜかと言うと、

テクニックを駆使する男が、めちゃくちゃ薄っぺらいからです。

そういう意味でもテクニックに依存した、女性の口説き方はお勧めしません。

## 5. 男としての魅力を高めてセックスを手に入れる

これが僕がお勧めするセックスの手に入れ方ですが、まずはデメリットからお話ししましょう。

デメリットは時間がかかることです。

その辺のインスタントなテクニックと違って、本質的なスキルになるので、1週間とか2週間そこらで身につけられる代物じゃありません。

だからそういう意味では、

セックスを手に入れる早さでは、風俗やソープに劣るし、Twitter などのオフパコが運良く成功した場合にもそうです。

タイミングや運が神がかり的に噛み合って、

ナンパやテクニックゴリ押しの方が、先に口説けてしまう場合なんてことも起こり得ます。

これらの方法は、後には絶対に続かないんですが、

その代わり短期的なスパンで見ると、男としての魅力を高めてセックスを手に入れる方法が負けてしまう可能性があるんです。

この方法は、最低でも1ヶ月、平均的に3ヶ月～半年、遅くとも1年くらいは腰を据えてじっくりと魅力を磨いていく必要があります。



逆に言えば、

人生80年（960ヶ月）くらいのうち、たったの  
3ヶ月くらい真剣に取り組めば、

これから先にお話しするメリットを総取りすること  
ができるということです。

メリットはたくさんありますが、

まず1つがいくつになっても女性にモテ続けることができるということです。

男としての「魅力」で勝負するので、

風俗やソープのように1回射精すれば終わりということでもないし、

再現性の低いオフパコに頼る必要もなければ、ナンパのように女性を悲しませる必要もなければ、

テクニックで薄っぺらい関係を気付くこともありません。

これまでに挙げてきた全ての方法は、

いずれ通用しなくなってきた、ジリ貧になるという無視できないデメリットがあるので、

魅力で勝負できるこの方法は、長い目で見ると、すべての手段の完全「上位互換」だと言えます。

何度でも、いくつになっても彼女が作れるし「セックス」が手に入ります。

魅力は永久に需要があるということですね。

これがまず1つ。

そして、何よりも

**他の人間関係が芽づる式で上手くいくことが挙げられます。**

なぜなら、「魅力」を高めることが、そのまま他の人間関係でも応用が利くからです。

女性を魅了する過程で身につけたスキルたちも他の人間関係に大いに役立ちます。

家族や友人が慕ってくれるのも、彼女を作るのも、学校や会社の後輩に尊敬してもらうのも、自分が尊敬する人にエコヒイキしてもらうのも、ビジネスがうまく行くのも、

一口に人間的魅力があるからに他なりません。

この「魅力」という概念がない人間は、他人からその他大勢のような扱いをされて不遇な思いをします。

だから、本物の魅力で女性を口説くことは、そのまま他の人間関係を良好にすることとイコールなんです。ね。

この恩恵が強すぎるから、僕は王道の恋愛を教えているわけです。

スピードで言えば他の方法に負けるかもしれませんが、

人生という長いレースで見ると

天と地がひっくり返ってもこの方法が負けることはありません。

王道のこの方法は、

間違いなく「俺の人生は幸せだった」と死ねるパズルのピースの1つだと思っています。

## 第3章：童貞卒業マインド

はい、いよいよですね、

第3章では彼女を作ったり、童貞卒業したりするのに、重要な話をしていこうと思います。

重要度★★★★★くらいの話です。

いわゆる戦略（作戦）のような話をしていくんですが、多くの恋愛で困っている人は、

この戦略がぐっちゃぐちゃで、テキストだからです。

言いかえるなら、

スタートラインの設定がそもそもおかしいわけです。

だから、彼女を作ったり、童貞卒業したりする、このゴールからどんどんズレていっておかしい方向に進んでいくわけです。

地図がそもそも違うことが書いてあるので、いつまで経っても目的地に到着しないんですね。



僕もむかしはこれを良くやっていて、

ほんと「女性をからかうと効果的」って話をそのまま歳上女性に使っていた時なんか、モロ当てはまっていたと思います。

あとは、知識だけひたすら学んで満足してしまったり、からかう以外のテクニックとかも使うことをとにかく意識してしまったりとか、

それはまあ酷かったんですよ（笑）

そうならないためにも、この戦略（作戦）をしっかりと理解しておく必要があるわけです。

魅力を高めて彼女を作るというミッションを3ヶ月とかで（早い人はもっと早いですが）達成しようと思ったら、意識していかないとはいけません。

それらの要素を1つ1つお話ししていきますね。

# 1. 情報の選択と断捨離

まず、大事になってくるのは情報の選択と断捨離です。

情報の選択とは、どの手段で彼女を作ったり、童貞卒業するのかを決めるということ。

ここまで読んでくれているあなたは、男としての魅力を高めてセックスをする考え方に共感してくれていると勝手に思っているので、

情報の選択に関してはすでにクリアしていることになります。

もし、仮に僕のやり方に共感していなくて、

ナンパという選択をしたとしても、「ナンパ以外の方法はとりあえず無視しよう」という姿勢が大事だし、

ナンパで成功するための情報を取りに行く必要があるわけです。

つまり、どんなやり方を選択するにしても、

余計な情報を入れないように「断捨離」を行うというわけです。

まあ、魅力的な男になって彼女を作るという方法がベストだと思っているので、2章で挙げてきた他の方法を断捨離してほしいというのが本音です（笑）

そして、具体的に何を断捨離するのかというと、

今まで学んだ本とかブログとかの恋愛の知識を一旦捨てるとか、

自分自身のプライドを捨てて、オープンな心で情報に触れるということです。

そうしないと、どこかのタイミングで

「こっちの方が良いんじゃないか？」

「でも、あの人はこう言っていたし……」

みたいな、行動がブレブレになってしまいます。

行動がブレるということは迷いが生じることなので、なかなか前に進まなくなってしまう。

人間は選択肢がたくさんある状態だと行動力が鈍くなってしまうんですね。

僕もむかし、知識だけ蓄えて行動しなかった時に、

「あの人はああ言っていた」

「この場合はこうだと思う」

なんて、童貞なのに一丁前に反論していたので、ここは陥りやすい罠です。気をつけましょう。

やっぱり信頼できる人の情報「だけ」に触れる姿勢が大事になります。

それ以外のノイズに振り回されていてはダメなんですね。

## 2. 我流でやろうとしない

これもかなり大事で、

もはや恋愛に限らず、すべてのチャレンジに言えることなのですが、何事も我流でやろうとすることは、失敗に直結してしまいます。

僕のメルマガ読者さんで

「まずは自分の力だけでやってみ  
たいと思います！」

って、メールで送ってくる人がいたりしますが、

先人たちが死ぬ気で生み出してきたノウハウに乗っ  
かる方がどう考えても早いです。

また同じような失敗をあなたが繰り返す必要はないし、手探りでやる必要もありません。

堂々と先人たちが生み出したノウハウをじっくりと理解して、行動に移せば、それが一番の近道なんです。

自己流を捨てて、徹底的に真似をしましょう。



小学校のころから仲の良かった親友が居るんですが、彼とは小学校、中学校、工場勤務、と3つの場所と一緒にになりました。(ちなみに勉強やスポーツは僕よりもはるかに優秀なやつです)

そんな彼は心優しくて良い奴なんですが、童貞です。

元のスペックが圧倒的に彼の方が高いのに、彼は未だに童貞なんです。

今となっては低スペだった僕が起業していて女性にもモテることができているのに、この差はどこでできるのかというと、

我流で何でもやってしまうのか、そうじゃないかの違いだけです。

ちゃんと信頼できて上手く行っている人の言うことを聞く。

ただこれをしただけです。

先人たちが死ぬ思いで味わった苦勞を、あなたも味わう必要はないんですね。

### 3. 知識武装をすること

すべての話が繋がってきますが、

我流でやろうとしないということは、ちゃんと知識武装して恋愛に挑もうということです。

みんな取りあえず自分の力でやろうとするんです。

学校の勉強や部活動とかだったら先生やコーチに教えて、仲間と強くなるのが当たり前だったのに、

恋愛になるとみんな1人でやろうとします。

それは、ちゃんと教えてくれる人がいないことが根本的に問題なわけですが、

自分でやるのは、恐ろしく効率が悪いんですね。

そうじゃなくて、まずは信頼できる人から徹底的に知識を得ましょう。

女性とはどういう生き物なのか？

魅力的な男とはどういう人物像なのか？

どういう LINE をすれば既読無視されないのか？

女性はどういう会話をすれば喜ぶのか？

どういうデートをすれば楽しんでくれるのか？

マインドセット（心構え）から細かいノウハウ、テクニックまで徹底的に知識武装するんです。

戦場に丸裸で挑むんじゃなくて、ちゃんと武装しましょう。

知識武装せずに、恋愛に挑むのは、受験勉強を一切せずに、受験するようなものです。

僕はこれをしてしまったから、公立高校最弱高だし、大学にも行けませんでした。

まあ、優秀な成績だったら、今の師匠に出会えていないので、結果オーライですが、

こと恋愛に関しては結果オーライなんてことは起こらないので、ちゃんと知識を学びましょう。

しっかりと準備して戦いに挑むという、当たり前のことを言っています。

## 4. 1ミリでも良いから行動すること&短期集中がお勧め

「行動」って聞くとアレルギーを起こしてしまう人が多いですが、なんでアレルギー反応が起こるのか知っているでしょうか？

実は「行動」できない理由をちゃんと知識ベースとして理解できているのと、そうじゃないのとでは、

**行動量に雲泥の差ができます。**

結論から言って、

あなたが行動できないのは、あなたが根性なしでも無ければ、3日坊主だからでもありません。

**すべて本能の仕業です。**

食欲・睡眠欲・性欲は3大欲求と呼ばれていて、紛れもない「本能」からくる欲求ですが

「行動できない」ことも本能からくる欲求です。

だから、正しい知識や認識がないと、お腹が空いたらご飯を食べるように、眠たくなったら寝てしまうように、ムラムラしたら抜いてしまうように、

行動する時にうまく動けなくなってしまうんですね。

正しく「行動」について理解していないことは、3大欲求に逆らうことと同じようなものです。

じゃあ、行動できないのは、

どういう本能の仕業なのかというと、行動することによる「変化」は死に繋がるから止める、という生存本能による働きから来るんですね。

特に未知の行動やチャレンジをするときに、生存本能が強く邪魔してきて、

行動しなくて良い理由を徹底的に探し始めます。



筋トレの例とかわかりやすく、

別に本能はムキムキになることを別に望んじやないわけですよ。

だから、筋トレを習慣化しようとしても、

今日は眠たいからとか、見たいテレビがあるからとか、友達と飲みに行く約束があるからとか、ちょっと休んでから行こうとか、ソシャゲのログインボーナスを受け取ってから行こうとか、

そんなことを考えている内に行かなくなるんですね。

**本能は言い訳の天才です。**

あなたを行動させないために、あの手この手を使ってやらなくても良い理由を囁いてきます。

このことが分かっているならば、

本能の操られずに行動できる確率がグンと上がります。本能は変わるのがキライなんです。

そうならないように本能が反応しないレベルで1ミリで良いから行動するんです。

そしたら、本能が下手に抵抗してこないし、行動している内にノリに乗ってきます。

そうなればあなたの勝ち。

本能は「はいはい、わかったよ。そこまで本気なら止めないよ」と、諦めてあなたに協力してくれます。

これが習慣化のロジックですね。

あとは、短期集中して課題をクリアする意識を持つ事も大切です。

彼女を作って童貞卒業するのは、正しい知識があれば3ヶ月以内に可能なことです。

1年とかダラダラかけて取り組むんじゃなくて、収集して一気に課題を終わらせましょう。

人生という夏休みを謳歌するために、短期集中して童貞卒業するんです。

童貞を放置したままにすると、人生の終盤になって苦しい思いをします。

夏休みの宿題を最後の3日でやると、しんどいのに一緒なんですね。

## 5. 自分自身を成長させる視点を持つこと

女性は魅力的に進化し続ける男が大好物です。

これは、女性の本能が優秀な男を求めていることから、逆らうことができません。

つまり、魅力的な男になって彼女を作ることは、

女性の本能にダイレクトにアプローチしていることとイコールになります。

むかしの僕はテクニックがあれば、女性を口説けると思っていました。

だから、会社員時代に「女性をからかうと効果的」というテクニックを盲目的に信じて行動した結果、

すべての女性社員に嫌われてしまいました。

これも、自分自身を成長させて魅力的な男になり、女性の本能にダイレクトにアプローチする視点があれば、ズレたことをしていることになりますね。

テクニックやテンプレートはあくまでもおまけです。

土台に自分自身を成長させて、魅力的な男になるという視点が抜け落ちていたら、女性に求められるようにはならないんですね。

テクニックゴリ押しで偶然付き合えたとしても、

自分自身を成長させる視点が抜け落ちていると、どこかのタイミングで振られてしまうので、やはり女性と長期的な関係を築こうと思ったら、

この考え方を無視することはできません。

以上が彼女を作って童貞卒業するためのマインドセット（心構え）でしたが、

ほかの目標達成にも言えることなので、

ぜひ脳みそにインストールしましょう。

どんな分野であれ、結果を出している人が持っている共通マインドです。

## あとがき

お疲れ様でした。いかがだったでしょうか？

僕自身、才能なんてものは、ひとカケラもなく、  
あったのは、絶対にいじめた奴や、見捨てた親を見返  
してやるんだ！ という何クソ精神だけでした。

勉強もできないし、スポーツもできないし、特技は  
ゲームだけだし、なんの取り柄もない。

そんな僕に残された唯一の武器が

「絶対に変わってやる！」

「コイツらを見返してやるんだ！」

という気持ちだけでした。

そういう意味では裏切った親友4人には感謝しない  
といけないのかもしれませんが、

とにかく彼女を作ることや、童貞卒業することに、  
特別な才能は必要ありません。

実際に、達成するまではどうしても現実味がないか  
もしれませんが、

しかし、やるべきことを淡々とやればちゃんと達成  
できます。

あとは、なんか魔法みたいなテクニックを使って女  
性を口説く方法はないと、

**良い意味で諦めることです。**



Twitter とか見ていると、

童貞卒業させてください  
彼女を募集しています  
オフパコしたいです

って、明らかに恋愛経験のない男子が他力本願で、

そういうプロフィールを書き込んでいたりするんですが、そういうのは止めましょうってことですね。

酷い人になると、自分の勃起したナニをプロフ画像にしていますからね。

運営さんちゃんとアカウント BAN してくれって思わなくもないですが（苦笑）

女性の視点になって考えたら分かるんですけど、

そういう男はダサいです。女性に求められるはずがないんですね。

自分の魅力を高めて行って、成長して行って、その過程で彼女を作るんだ！

という視点に切り替えた方が、

圧倒的に成果が出るのが早いし、人生レベルで見ても人間関係が次々に改善されていくので、

次第に楽になってきます。

もしあなたが、何年も恋愛という悩みで苦しんでいるのなら、

正しい知識を学んで王道の正攻法で彼女を作ってやるんだ！ という考え方にチェンジして

3ヶ月で良いので、真剣に取り組んでみてください。

僕自身、女性を口説くにはなにか

「ウルトラテクニック」があるんだと勘違いしていて、随分と長い間、彷徨っていましたから。

彷徨っていて、会社の女性をからかって全員に嫌われていたんです。

LINEにしても、どっかで見たテンプレートとか使って既読無視されるし、

会話にしても変なテクニックを使って反応が悪いし、

デートも気持ち悪いボディタッチをしてしまって、次に繋がらないし、

薄っぺらいテクニックを表面だけなぞって真似すれば彼女が作れるほど、

女性も恋愛も甘くないんですね。

それよりは、男としての魅力を高める方が、女性に求められるし、いくつになってもモテ続けることができるんです。

それに偶然なんとかテクニックで女性と付き合えても、後には続きませんからね。

途中で女性に飽きられて捨てられるだけなんですね。

そういう意味でも「王道」が最強なんです。

あなたにはせつかくこんな長っがい文章を読んでもらっているのだから、

ぜひ、この王道の方法で彼女を作る、童貞卒業する道を選んでほしいですね。

そっちの方が100倍楽しい人生  
が待っていることはお約束できます。

人生のクオリティは人間関係にかかっているので、  
じっくりと力を付けていきましょう！

ということで、長くなりましたが、最後まで読んで  
いただき本当にありがとうございました。

神楽

## 【著者】 神楽

小学校の頃、日が暮れるまで遊んでいた親友4人に、中学に入ったタイミングで裏切られていじめられる。

自殺を本気で考えたが勇気がなくて実行できず、代わりにゲームの世界にどっぷりと浸かって現実逃避を始める。

そのせいで学校の成績はみるみる落ちていって、流れるように底辺高校→工場勤務へと就職する。

底辺高校時代から女の子と付き合っセックスすることに強烈な興味を抱くが、いじめられていたことで自信が無くなっていたことから、

うまく結果が出せずに数年間ノウハウコレクターとして彷徨う。

その後、偶然いまの師匠と出会うキッカケがあり、そこから徐々に女性にモテるようになった。

今では童貞卒業コンサルタントとして、恋愛は人生のクオリティを上げてくれる価値のある営みをモットーに数多くの童貞男子を魅力的な男へと進化させている。

現在は、念願の独立起業を果たし、さらには、そのライフスタイルに憧れてくれた彼女にビジネスを教えていて、一緒に自由を目指している。